

# ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)  
 群馬県前橋市元総社町七三-15  
 TEL 027-2555-3434  
 FAX 027-2555-3435  
<http://www.neues-asahi.jp>

新緑の美しい季節になりました。

毎年この時期にだけ味わえるコシアブラやコゴミ、ヤマウド、サンショを天ぷらに揚げ、少々の塩をかけ、そして蕎麦をさつと茹で「春を食す」という、なんとも贅沢な夕食を楽しんでいます。

生活を楽しむという事は手間暇がかかることですが、安易なもので済ますことでは得られないような生命力を享受できます。

仕事場の机の上に県立土屋文明記念文学館で開催されている「文豪 田山花袋」のチケットがあり、そのチケットの肖像写真が腕組みをして一日中ずつとこちらを睨んでいます。

田山花袋は、日本の近代小説のなかでも「蒲団」や「田舎教師」など自然主義文学の代表的な作品を残していますが、数日前に久しぶりに「蒲団」を読み返してみました。私は当然知りもしない時代ですが行間から当時の香りが風について身体を流れていくような気分を味わいました。

伊藤信吉先生が土屋文明記念文学館館長の時に当館から発行された「群馬文学全集」の第一巻が田山花袋です。その巻には「田舎教師」や「時は過ぎゆく」が収められています。

ネット社会で、電子書籍で読むのもいいのですが頁を一枚一枚とめくっていく感触も小説を読む楽しみです。この感触、感覚を忘れたら、小説の主人公や取り巻く人々の気持ちや時代の空気も激減するように感じるのです。が・・・古い人間なのでしょうか。

蔵書といえる程の冊数はありませんが、気ままに手に取って読める本がいつでも身近にあることはありがたいことです。そして、体感できることは実に楽しいものです。主人公にはなりませんが、少し上空からその世界を覗き見しているような距離感で充分味わえる感覚です。何を讀んだ・・・ということなく、その時にどう感じたか、知らない世界の中での触覚がどのよう

に反応したか、その皮膚感覚がまた面白いものです。花々が咲き乱れる文学館や図書館周辺を散策し、帰宅途中どの家からも夕餉の音が聞こえ、においが漂ってくる頃に本に向かうのもよいでしょう。

散策やドライブの折には、ノイエス朝日にお立ち寄りいただき作家やスタッフとの会話を楽しみたいだけだと思います。

五月のサロンでお待ちしております。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

### 五月のサロン

〈企画〉

協力 ロータリーアート

会期 五月二十一日(水)～二十八日(水)  
 午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

県内外の作家作品を日常生活で気軽に使っていたために特別価格にて展示販売致します。お誘い合わせの上、お出かけ下さい。



備前 家香合



茶碗

### 第5回

## 群馬工芸美術会五月展

〈企画〉

会期 五月三十一日(土)～六月八日(日)

午前十時～午後五時三十分  
 (最終日は、午後五時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

群馬工芸美術会会員の中から二十三名の作家による作品展です。

鑑賞するだけでなく、「使う」という用の美を楽しみながら作品をご覧になっていただければと思います。会期中、会場に交代で作家も在廊しています。作家との交流の場としての空間もあわせてお楽しみ下さい。

## 〈お知らせ〉

芭蕉座 第三回コンサート

うたい語る「おくのほそ道」

六月二十八日(土) 午後七時～

前橋文学館 3Fホール

会費 二〇〇〇円

\*ノイエスにてチケット扱っております。 027-2555-3434

問い合わせ先 027-221-2725(山本)

## 第二十一回 朗読公演「チエロとピアノの調べ」

第一部

カフカ 小説の朗読

第二部

三好達治 詩の朗読とナレーション

日時 七月十二日(土) 午後一時三十分開演

会場 煥平堂5階ホール

一般前売二五〇〇円 当日三〇〇〇円

主催・前橋朗読研究会「BREATH」

問い合わせ先 080-5653-3699

## 〈予告〉

伊藤三枝さん個展

二〇一五年一月五日(月)～十八日(日)



「ひと休み」 伊藤三枝